



いんざいオレンジカフェ in 牧の原地域交流センター 3/4



広報レポーター

橋本 千代子 (岩戸)

「いんざいオレンジカフェ」は、認知症の人とその家族をはじめ、認知症に関心のある人なら誰でも集えるサロンです。会場では、スタッフとボランティアが参加者を笑顔でお出迎え。前半のミニ講座では、高齢者の体について学び、高齢になっても体を鍛え、1日最低、体重の千分の一のたんぱく質をとること。そして、

人と会話をしましうとのお話に皆さんうなずかれていました。後半はお茶をしながらのおしゃべりタイム、ジェスチャーゲームやピアノ演奏に合わせての合唱とあっという間に2時間が過ぎてしまいました。参加者からは「初めて参加したがとても楽しかったのでまた来たい」「認知症のことが怖くなくなった」「同じような立場の方との交流が持て励みになった」などの感想もあり、このカフェが誰にとっても心地よい場所であった事がわかりました。この「いんざいオレンジカフェ」は3年前から市の委託を受けた特定非営利活動法人秋桜が、市内の5会場で運営してきましたが、4月からは各

輪になって座りゲームを楽しみました



地域包括支援センターが運営する予定とのこと。カフェ開催の折には皆さん是非、気軽に立ち寄ってみてください。

運営を手伝うボランティアの皆さん



懐かしい歌をピアノにあわせて皆で合唱

